

技術力を活かして自社開発に挑戦。ワクワクする仕事で新たな市場を切り拓く

「社長に就任して「会社とは」と考えた時、社員が誇れる会社になりたい、そのためには、ワクワクが仕事の中心にないといけないと思った。自社開発のシャワーヘッドが展示会で初めて外部から正に評価されたとき、ものづくりの方向性に確信を持てた。その夜、社員全員で祝杯を挙げ思わず終電を逃した。（代表取締役社長 福島 康貴氏）」

○事業展開の背景、効果・反響

- ・プラスチック製品の製造会社として創業。オイルショック不況を乗り越えるため新技術を導入し、水周り部品へシフト。寸法の安定しにくい肉厚製品の製造技術が評価された。
- ・平成不況で社会の業況の先行きは不透明に。不確実な時代に対応すべく、2003年に腕時計部品の自社開発に取り組み大手企業1社から採用。量産化には至らなかったが新商品開発・提案の楽しさを認識。2006年現社長就任後、2009年にOEM供給実績のあったシャワーヘッドで再度自社開発に挑戦。マイクロ・ナノバブルを発生させるシャワーヘッドの製品化に成功し、試作を1年ほど続け、2010年に自社ブランド「if(イフ)」を立ち上げる。
- ・マイクロ・ナノバブルのエビデンスの検証や特許取得に苦労したが、検証の末、肌への好影響が明らかとなり、展示会での営業等により大手美容メーカーとのODM契約を獲得。
- ・現在シャワーヘッドは約90万本製造し売上の1/3を占める。各社の様々な需要に合わせた共同開発や、ODM製品の海外進出に向けたターゲット等の調査も進めている。

○今後の展開

- ・自然の大切さに着目し、創業60周年に向け「LIFE-TECH よりよく生きる文化をつくる」を掲げ、“BeBees”事業を始動。「食」を支える農業インフラであるミツバチから、人のインフラを考える研究を大学と実施。採蜜も行いシャンプー等に配合し「if」商品で展開予定。



if×BARTHのコラボ商品重炭酸バブルシャワー（出所：ifブランドページ
(https://isolafelice.jp/wppost/plg_WpPost_post.php?postid=962))



こだわりのシャワーヘッド「雅」
(出所：ifブランドページ
(https://isolafelice.jp/products/detail.php?product_id=9))



BeBees コンセプト
(出所：フクシマ化学(株)HP
(<https://fuku-net.co.jp/jobs/sp3.php>))



会社外観（出所：フクシマ化学(株)Instagram
(<https://www.instagram.com/p/DC31MsboFdM/>))

<企業情報>

所在地：岐阜県美濃加茂市加茂野町今泉1135

代表者：代表取締役社長 福島 康貴

創業：1966年

従業員数：100名

資本金：1,000万円

事業内容：プラスチック製品の製造

HP：<https://fuku-net.co.jp/>